

第1回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、福岡県地域エネルギー政策研究会における研究をスタートしました。
- 小川知事からは、県民生活の安定に加え、産業の活性化や雇用の確保を図る観点から、研究会においては、エネルギー・電力需給の安定のために地方が取り組むべき役割や取組みについて、積極的な提言を行ってほしい旨の発言がありました。
- 私の方からも、非常に難しい検討テーマではあるが、忌憚のない議論を交わし、福岡県の将来を大胆に見据えた意見・提言等を県に対し行っていきたい旨を、各委員にお願いさせていただきました。
- 第1回となる今回は、事務局から、「福岡県の産業動向やエネルギー需給状況」を説明いただきました。

この中で、福岡県では、産業部門でエネルギーの効率的利用が進む一方で、家庭など民生部門でエネルギー消費が増加傾向にあり、その対策を検討することが重要な課題となっていることが説明されました。

また、産業の活性化や雇用の確保の観点から、安価で安定的なエネルギー供給の確保を図ることも重要な課題となっていることが説明されました。
- これらの課題を受け、事務局からは、本研究会における主な検討テーマとして、①再生可能エネルギーの普及、②燃料電池を含むコージェネ（熱電併給システム）など分散型電源の普及、③石炭や天然ガスによる高効率発電の普及、④エネルギーの効率的利用の促進に関する地方の役割や取組みが提案されました。
- なお、資源エネルギー庁の井上次長のご講演は、本人の体調不良のため、急遽中止となりました。

井上次長には、本研究会における議論の基礎となる世界のエネルギー情勢や、我が国における新たなエネルギー政策の基本方針などを是非ご紹介いただきたいと考えておりますので、まずは体調を万全に整えていただいた上で、次回に再度ご講演を打診したいと考えております。
- 本研究会では、2年程度の研究を行い、県に対し適宜報告や提言を行うこととしております。

福岡県における新たなエネルギー施策の展開を支援するためにも、研究会において活発な議論を行ってまいりたいと考えています。